



今年も実施
しました！

夏の行事



夏 祭 り 他	行事名	日程	会場	主催
	第43回サマーフェスティバル	7/19(日)午後1時30分～	深沢区民センター	深沢区民センター運営協議会
	深沢坂上盆踊り	7/19(日)午後2時～	深沢神社境内	深沢坂上商店会
	カレー祭り	7/24(金)	深沢小学校	駒沢町会
	東深沢町会夏祭り	7/25(土)午後5時～	深沢公園	東深沢町会
	盆踊り大会	8/3(月)、4(火)午後7時～	駒沢緑泉公園	駒沢三丁目町会
	新町親子野外教室	8/5(水)	埼玉県秩父 小松沢レジャー農園	新町公民会
	駒沢ふれあい広場夏祭り	8/9(日)午後2時～	駒澤大学深沢キャンパス	駒澤大学同窓会東京都支部
	納涼盆踊り大会	8/23(日)午後6時～	久富稲荷神社境内	新町公民会
	ミニ縁日	8/23(日)午後4時～	呑川緑道	深友会

各所でラジオ体操も実施されました。

ま せ ち づ く り	行事名	日程	会場	主催
	さぎ草花後の手入れ講習会	7月1日(水)午前10時～	深沢まちづくりセンター	身近なまちづくり推進協議会
	子どもシアター 人形劇	7/28(火)午前10時～ 7/29(水)午前10時～	深沢区民センター 桜新町区民集会所	青少年深沢地区委員会
	普通救命講習会	7/24(金)午前9時30分～	深沢まちづくりセンター	身近なまちづくり推進協議会
	バスハイク	8/20(木)	多摩六都科学館、小金井公園（東京建物園）	青少年深沢地区委員会



秋の行事予定



行事名	日程	会場
深沢神社例大祭	10/3(土)、10/4(日)	深沢神社境内
久富稲荷神社例大祭	10/3(土)、10/4(日)	久富稲荷神社境内
ぎんなん祭り	11/29(日)	深沢小学校

「東京都シルバーパス」のご案内

今年度も、原則郵送での手続きになります。
東京バス協会から届く「更新手続きのご案内」
をご覧ください。
10月の更新に合わせPASMOに移行します。

お問合先：東京バス協会
03-5308-6950

ごみ減量・リサイクル推進委員会からのお知らせ



6月7日(日)に、古着・古布回収を実施しました。今回も多くの方たちにご協力いただきました！

次回は 11月22日(日) です。

玉六広報部会

【部会長】山本 紀子(東深沢町会) 【副部会長】金井 朋子(深友会)
【部会員】青柳 義博(交和会)、高安 敬子(深沢三友会)、藤塚 晴(新町公民会)、彌永 正毅(桜新町親和会)、山澤 順子(桜新町町会)、山本 明夫(駒沢三丁目町会)、富塚 くみこ(駒沢町会)

本紙の発行に長年ご尽力いただいた青柳 義博 様（交和会）が8月にご逝去されました。これまでのお力添えに深く感謝するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

カラー版「玉六情報」は世田谷区ホームページでご覧いただけます。



ふかさわ



よ も やま ばなし

四方山話

～町会編～

交和会会長 本田 隆志

交和会は昭和24年4月に発足し、おかげさまで今年で77年目を迎えました。エリアは深沢四丁目と駒沢五丁目にまたがり、会員数は約1,000世帯です。毎月1回の定例会で意見を出し合い、警察署・消防署・役所と連携する窓口役として、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

またこの地区は、東に駒沢オリンピック公園、南に呑川緑道が広がり、豊かな緑と落ち着いた住環境に恵まれたエリアです。

青空に伸びる象徴的な記念塔が印象的な駒沢オリンピック公園は、1964年の東京オリンピックで主要会場の一つとなった歴史を物語る公園です。大会当時には各種競技施設が整えられ、世界中のアスリートが集い、歓声に包まれました。その熱気や設備は、美しい並木や多彩なスポーツ環境となって今も息づき、日々の散歩から本気のトレーニングまで、誰もが気持ちよく過ごせる“レガシーの公園”として親しまれています。週末のほどよいにぎわいも心地よく、季節ごとに表情を変えるともに、何度でも足を運びたい場所です。

地区の南側を横切る呑川緑道でも、桜をはじめ四季折々の緑を楽しめます。近くにはベーカリーやカフェも点在し、週末はおいしいコーヒーを片手に緑道でのんびりピクニック。暮らす楽しみがぎゅっと詰まった地区です。

私たち交和会は、歴史ある住宅地ならではの品格と、豊かな自然が調和するこの街を大切に、地域コミュニティの発展に努めています。これからもこの街並みと絆を大事に、誰もが安全・安心に暮らせる地区であり続けるよう、呑川清掃、ラジオ体操、防災訓練、消火訓練、防犯防火パトロール、親睦日帰り旅行など、地区のつながりを深める催しを続けてまいります。

行事のお知らせは回覧板や掲示板でご案内します。どうぞお気軽にご参加ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



定期清掃活動の様子（呑川清掃）



ラジオ体操（深沢不動）

第128号

令和8年9月1日

発行人
身近なまちづくり
推進協議会
玉六広報部会

事務局
深沢まちづくり
センター
TEL3422-8391



玉川消防団消防操法大会入賞

令和8年5月31日（日）に駒沢オリンピック公園中央広場にて、玉川消防団全11団が参加する消防操法大会が開かれ、深沢地区を受け持つ2つの分団が見事入賞しました。この度は誠にありがとうございます。



準優勝 玉川消防団第10分団(受持区域：新町1～3、桜新町1・2、駒沢3・4、深沢8)
3位入賞 玉川消防団第6分団(受持区域：深沢1～7、駒沢5、駒沢公園)

まちのお元気さん

【関節トレーニング教室（深沢三友会）】

深沢三友会は約3年前に関節トレーニング教室（以下、かんとれ）を始めました。かんとれの考案者は運動科学の専門家、笹川先生です。先生は関節の動きが運動能力の低下や向上に与える仕組みを研究されています。かんとれの講師は先生のご指導を受けた大塚さんご夫妻です。



筋肉はガンバリ筋とサボリ筋があり、それらがバランスよく働かないとコリや関節痛が起きます。かんとれではサボリ筋だけを鍛えます。引きずって歩いていた足が上がるようになった人、足元が軽くなり腰が伸びた人がいます。健康作りや介護予防のためにそれぞれの目標を持つ仲間とこれからもかんとれを続けます。（連絡先 谷岡 080-6518-4615）

【健康麻雀（深沢あすなろ会）】

「家で引き込まないで・外に出て皆で楽しもう！！」をモットーに2卓の麻雀台で70歳後半～80歳後半の皆とワイワイ・ガヤガヤお喋りしながら「深沢あすなろ会」は健康麻雀を楽しんでいます。



人が集まれば近所の情報がいろいろ沢山あって、高齢者でも参加できる行事やイベントに誘い合い、参加して元気に動き回っています。

健全な筋トレや地域の交流を深め、これからも高齢者の生きがいとなる社交の場として続けていきたいと思います。

新館長のごあいさつ

深沢児童館 館長 浅子 千恵（あさこ ちえ）

今年度、喜多見児童館から深沢児童館へ異動して参りました浅子 千恵です。

前職場とは環境が全く異なり、子どもや子育て家庭の様子も雰囲気も異なります。どんな環境の下でも子どもたちが自分の思いを声に出し、認めてもらえるような子育て環境、地域、児童館でありたいと思っています。電子ゲームばかりでなく、子どもたちが何かに熱中できて、「児童館に来てよかった」と思ってもらえるような児童館を目指していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



まちづくりセンターに 新しい仲間が増えました！

このたび、深沢まちづくりセンターに配属となりました眞 叶（とうま かない）です。

身近な相談窓口として、丁寧で分かりやすい対応を心がけてまいります。また、事業では主に青少年深沢地区委員会の活動や環境緑化部会・安全部会の活動を担当いたします。様々な場面で地域の皆さまと関わることができるのを楽しみにしております。

まだ1年目で不慣れな点もございますが、地域の皆さまの暮らしがより良いものとなるよう、日々学びながら一つひとつ取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします！

職員紹介



新町公民会まちかど防災訓練

6月13日（土）、久富稲荷神社にて新町公民会主催の「防災訓練」を行いました。①災害時を体験！お湯だけでできるアルファ米試食体験 ②D型ポンプ動作確認貯水槽確認 ③災害時トイレ体験 ④ソーラー充電実施 を行いました。



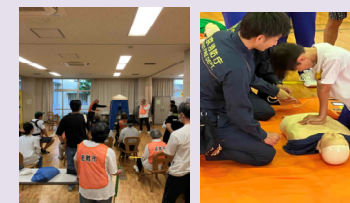
東深沢小学校避難所体験訓練

7月5日（日）東深沢小学校で深友会と東深沢町会主催の「避難所体験訓練2026」を実施し、参加者は一般とスタッフ合わせて約80名でした。今年は、“～避難所ってどんな所か確かめておこう～”をテーマに、避難所開設時の出入り口となる南門の開錠から行い、①避難所生活のルール確認、②災害用電話の体験、③マンホールトイレの体験を行いました。生憎の雨天のため、マンホールトイレ体験は体育館で、井戸水のポンプ汲み上げ体験を外で行いました。最後にアルファ米を試食し、塩とユカリだけでしたが「案外イケル」と完食した方もいて、帰りにお土産が配付され充実した半日でした。



東深沢中学校避難所体験訓練

7月5日（日）、東深沢中学校を避難所としている交和会、深沢三友会の主催で避難所体験訓練を開催。参加者はスタッフ、中学生ボランティア、一般参加者を合わせ約130名でした。町会別に三班に分かれ、「AED」・消火器による初期消火の説明を受け、食堂地下の雨水タンク・防災倉庫を見学、起震車体験。雨天のため、マンホールトイレの説明を屋内で行い、避難所でもっとも大変な「トイレ」について皆で考えました。玉川消防署の齋藤様が「東日本大震災」時に気仙沼へ出動した際の、学校体育館の避難所の様子などの写真を拝見し、互いに「顔見知り」になり助け合える関係づくりと、自宅での備えを見直し「在宅避難」に対応する準備も必要と実感しました。



災害に備えよう！在宅避難行動ガイド

応用編

災害時のタイムライン

	時 間	在宅避難のための行動（一例）
日頃の備え	地震発生前	3つのポイント ・自宅の安全対策をしよう（家具の固定など） ・備蓄を進めよう（飲料水・食料・携帯トイレ等の備蓄など） ・災害時の情報収集手段を確認しておこう
初動	地震発生	・姿勢を低くして頭を守る ・机の下に身を隠す ・エレベーターに乗っていたらすべての階のボタンを押すなど
	地震から3分	・靴やスリッパを履いて怪我に注意して行動する ・落ち着いて火の始末をする ・ドアを開けて出口を確保するなど
安全確認・避難準備	地震から30分～3時間	・しばらくは余震に注意する ・非常用持ち出し物品を確認する ・情報収集手段を確認し最新情報を入手するなど ～ 自宅の安全を確認できた場合は「在宅避難」へ ～
避難生活	地震から半日～3日	在宅避難開始 発災から3日間は自力で乗り切ろう！ ・排水管が壊れていないこと、下水道が復旧していることを確認できるまでは、簡易トイレや携帯トイレを使用する ・生活するスペースを確保する（怪我をしない服装で倒れた家具や割れたガラスを片付ける） ・伝言ダイヤル・SNSの活用（家族や知人に無事を知らせる 災害伝言ダイヤル「171」）
	地震から4日目以降	・避難所が支援拠点になり、支援物資の配布が開始される予定 ・避難所で災害情報や支援情報を入手 ・区内の地区会館、区民集会所にスマートフォンの充電スポットが開設される ・ライフラインの復旧までの目安 電気7日、上下水道30日、ガス60日、通信14日

「まず3日間を自力で乗り切る備え」と「自宅の安全確認」が在宅避難成功の鍵。 詳しくはこちらで確認！
（「基本編」「実践編」もこちらから）

